

# 次世代自動車の普及促進について

大気環境課地球温暖化対策室  
自動車環境グループ

## 1 次世代自動車の普及促進

電気自動車やプラグインハイブリッド自動車は、二酸化炭素の排出量が極めて少なく、温室効果ガスの削減に大きく貢献するものと期待されている。

平成20年7月、国は「低炭素社会づくり行動計画」を決定し、2020年における自動車販売台数の、2台に1台を電気自動車、プラグインハイブリッド自動車などの次世代自動車とするという野心的な目標を示した。

平成21年以内に、電気自動車とプラグインハイブリッド自動車の市場投入が予定されており、普及促進の観点から、初期需要の創出に努めていく。

## 2 普及促進モデル事業

電力会社、自動車メーカー、市町村及び電気自動車等の導入に賛同する企業と連携協力して、協議会を設置し構成メンバー等が電気自動車等を率先導入するとともに、充電インフラを整備し、電気自動車等を営業業務や通勤に使用するモデル事業を実施する。

モデル事業の概要

### 【事業参加者】

- ・ 愛知県
- ・ 電力会社 - 中部電力
- ・ 自動車メーカー - トヨタ自動車、三菱自動車工業
- ・ 地元企業 - チェーンストア、百貨店、その他
- ・ 参加市 - 名古屋市、岡崎市、豊田市、安城市
- ・ その他 - EXPOエコマネーセンター等

### 【取組内容】

EV・pHVの初期需要の創出

(企業)

- ・ 車両の率先導入 従業員に貸し出し通勤利用、営業用に使用
- ・ 必要な充電設備を整備 一般車に開放

(自治体)

- ・ 公用車として導入 業務使用、イベント等での展示・試乗
- ・ 充電設備を整備 一般車に開放

(タウンユース)

- ・ 個人購入 - 自宅で充電
- ・ 商業施設等に充電設備を設置
- ・ 充電設備設置位置情報を発信
- ・ 充電設備設置者 割引措置、駐車場優先利用区画の整備

(カーシェアリング)

住民の実体験による普及拡大

充電インフラの整備

- ・ 参加企業による充電設備の整備
- ・ 多機能型充電設備の開発

EV・pHVの普及啓発

- ・ 充電設備に共通ロゴマークを付けてサインポスト化
- ・ イベントで展示や試乗

